

顧頡剛 編著

王煦華 整理

春 秋 地 名 考

圖 北京圖書出版社

①



廢故則

學術專著系列

卷之三

未印本

春秋地名考

5

圖北京圖書出版社

顧頡剛編著 王煦華整理



第五冊 目錄

甲父.....一三六  
甲氏.....一三八

## 畎

畎夷.....一四〇

## 畢

畢.....一四一

## 留

留.....一五二

## 畱

畱舒.....一五八

## 番

番.....一六〇

## 皇

皇.....一八三

## 疇

疇.....一六一

## 疇

疇.....一六二

## 臯

臯.....一八七

## 兆

兆.....一八九

## 發

發.....一六三

## 火 部

## 白 部

白.....一六四

白羽.....一六八

白狄.....一七一

白翟.....一七三

百.....一七五

百泉.....一七五

百濮.....一七八

百蠻.....一八二

番.....一六〇

疇.....一六一

疇.....一六二

疇.....一六三

疇.....一六四

疇.....一六五

疇.....一六六

疇.....一六七

疇.....一六八

## 盧 部

臯澤.....一九九  
臯鼬.....二〇一

## 皖 部

皖.....二〇二

## 鹽 部

鹽.....二三九

## 皿 部

孟.....二〇四

孟壺口.....二一三

## 盜 部

盜泉.....二一五

## 盛 部

盛.....二一六

## 盟 部

盟.....二一七

## 臯 部

臯.....二一八

## 臯 部

臯.....二一九

## 睂 部

盧氏.....二三九  
盧戎.....二三一  
盧門.....二三三  
盧蒲.....二三八

## 目 部

直人.....二四二

直轍.....二四三

相.....二四四

相讓臺.....二五三

相城.....二五四

相.....二五五

眡.....二五五

眡.....二五六

眡.....二五六

眡.....二五六

眡.....二五六

眡.....二五六

睂.....二五七

督揚.....二六四

睽.....二六七

讐.....二六九

讐相.....二六九

矢部

知.....二七〇

知氏.....二七二

石部

石抗.....二七四

石門.....二七五

石窮.....二八二

石峽.....二八四

石湖.....二八五

石梁.....二八六

石溪.....二八七

砥柱.....二八八

砾.....二八九

示部

社.....二九〇

社首.....二九二

社圃.....二九三

祁.....二九四

祁黎.....二九八

彷.....二九九

祇.....三〇一

祝.....三〇三

祝丘（邱）.....三〇五

秦部

禹.....三三三

禹氏.....三三三

稷.....三七八

稷.....三七八

稷山.....三八六

稷曲.....三八七

稷門.....三八八

稷桑.....三九二

穆.....三九三

祝其.....三〇七

祝柯（阿）.....三〇八

秦餘杭山.....三五〇

秦穆公城.....三五一

祲.....三三四

祲祥.....三五六

禚.....三三七

禦.....三三九

禦兒.....三三九

禦.....三三九

禦.....三三九

禦.....三三九

禦.....三三九

禦.....三三九

禦.....三三九

程.....三五二

程邑.....三五五

程侯山.....三五六

種.....三五九

穀.....三六〇

穀丘（邱）.....三七三

穀城.....三七五

稷.....三七五

稷.....三七八

稷山.....三八六

稷曲.....三八七

稷門.....三八八

稷桑.....三九二

秦.....三三七

秦餘杭山.....三五〇

秦穆公城.....三五一

穆陵 ..... 三九三

穆公砦 ..... 三九九

章華宮 ..... 四一九

章華台 ..... 四二〇

籩

籩篠 ..... 四六〇

絞 ..... 四八七  
絞州 ..... 四八八

穢貉 ..... 四〇〇

端氏 ..... 四二五

經 ..... 四九一  
經皇 ..... 四九一

紅 ..... 四六一

絳 ..... 四九二  
絳 ..... 四九二

空 ..... 六

笙 ..... 四二九

紀 ..... 四六四

空桐 ..... 四〇一

笙瀆 ..... 四三〇

紀鄣 ..... 四七〇  
紀隨 ..... 四七三

空桑 ..... 四〇二

笠 ..... 四三一

笠澤 ..... 四三一

綸 ..... 五〇九  
綸氏 ..... 五一三

空澤 ..... 四〇三

索 ..... 索氏

綿 ..... 五一五  
綿 ..... 五一五

窮 ..... 六

管 ..... 四三七

純 ..... 純門

緣 ..... 緣上

窮石 ..... 四一〇

管蔡 ..... 四四二

純留 ..... 四七八

緣 ..... 緣譬

窮谷 ..... 四一二

管蔡 ..... 四四二

純留 ..... 四七八

緣 ..... 緣譬

窮桑 ..... 四一四

箕 ..... 四四四

純留 ..... 四七八

緣 ..... 緣譬

窮魚 ..... 四一六

笠 ..... 四四四

純留 ..... 四七八

緣 ..... 緣譬

笠 ..... 八

笠篠 ..... 四五七

終 ..... 終南

緣 ..... 緣陵

立 ..... 八

簡 ..... 簡城

細 ..... 細腰宮

緣 ..... 緣陵

章 ..... 八

立 ..... 立部

練 ..... 練

章山 ..... 四一八



肅

肅慎.....六五〇  
肅爽.....六五八

## 肉 部

肥

肥.....六五九  
肥泉.....六六四

胥

胥.....六七二  
胥山.....六七三  
胥城.....六七六  
胥溪.....六七八  
胥靡.....六七八  
胥母山.....六八三

胙

胙.....六八四

胤

胤.....六八六  
脩澤.....六八七

脾

脾洩.....六八九  
脾上梁間.....六九一

膠

膠.....六九二

臨

臨.....六九三

## 臣 部

舒

舒.....七二五  
舒州.....七三一  
舒庸.....七三五  
舒蓼（鄆）.....七三六  
舒鳩.....七四〇

臺

臺.....七〇九

## 至 部

## 舟 部

白

白衰.....七一六

舊

舊許.....七一九  
舊衛.....七二三  
舊墉（廊）.....七二三

良

良.....七四三

臼

臼陪

艮

艮部

舟

舟.....七四一  
舟道.....七四二

臺駘.....七一三  
臺壁.....七一五

胤

胤.....六八六

臺驘

臺壁.....七一五

舟道

舟道.....七四二

午  
集



玉部

魚局初決韻

玉

Jin-chang

玉暢春秋地理考實

漢十二年傳宋鄭之間有隙地焉曰彌作頃邱玉暢集纂杞縣東北三十里有玉帳或云古玉暢案杞縣為春秋宋地北與陳閭接壤傳曰宋鄭之間或即是也（大事表同）

史記秦始皇本紀始皇三、攻铚、酇、鄧有詭。室院者暢酇之邑（或以為即玉暢）

王余莊切陽齋

Wang Yuzhuang

詩地理考卷三

王

國風

鄭氏譜曰：王者周東都王城畿內方六百里之地，其封域在禹貢豫州太  
華外方之間，北得河陽漸冀州之南，始武王作邑於鎬京，謂之宗周，是為  
西都。周公攝政五年，成王在豐，欲宅洛邑，使召公先相宅，既成，謂之王城，是  
為東都。今河南是也。召公既相宅，周公往營成周，洛陽是也。成王居洛邑，遷  
殷頑民於咸周，復還歸處西都。至於夷厲，政教尤衰。十二世幽王嬖褒姒，生伯服，  
廢申后太子宜臼奔申，申侯與犬戎攻周，殺幽王於戲。史記隱山下晉文侯鄭武  
公迎宜臼于申而立之，是為平王，以亂故徙居東都王城。於是王室之尊與諸  
侯無異，其詩不能復雅，故貶之謂之王國之變風。

鄭志張逸問平王微弱，其詩不能復雅，厲王流於彘，幽王滅於戲，在雅何？答曰：幽厲無道，酷虐於民，以強暴至於流滅，豈如平王微弱，政在諸侯，威令不如於百姓乎？（泰山孫氏曰：詩自東離而降，書自文侯之命而絕，春秋自隱公而始。）

括地志：王城一名河南城，本郊廟，周公新築，在河南縣北九里苑內東北隅，自平王以下十二王皆都此城。至敬王乃遷都成周。（成城在洛陽縣東北二十六里，周公所築。）敬王又居王城。（在瀍河七年，王遷盟向民于陝，讓二十四年，齊人城卿，卿王城。）

朱氏曰：王謂周東都洛邑王城，清乃卜澗水東、瀍河西，惟洛食。孔氏曰：今河南城也。王

室卑與諸侯無異，故其詩不為雅而為風，然王德未替也，故不曰周而曰王，其地則今河南府及懷孟等州是也。

唐氏曰：二南之風也，商微而周之興也，王之風也，周降而詩之將亡也。

呂氏曰：成周乃東都總名，河南成周之王城也。洛陽成周之下都也。平王東遷之後，所謂西周者，豐鎬也。所謂東周者，東都也。威烈王之後，所謂西周者，河南也。所謂東周者，洛陽也。考王以王城故地封其弟桓公

補傳曰：周之始盛也，文王位止西伯，未嘗稱王，而二南之化被于天下；周之既衰也，平王以後雖為天子，而王風之詩僅同列國。此二南與王風名同為風，實則不同也。風之名既同於列國，而加一王之一字，所以尊周，亦所以愧周，與孔子於魯春秋書王之意一也。服虔云：尊之猶稱王，猶春秋之王人稱王而列於諸侯之上。○戴氏曰：東遷之後，降而為風。自季札觀樂已然，非聖人降之也。○吳氏曰：王謂王賦之地，王人王流說皆非。

地理志：周地今之河南、雒陽、穀、成、平陰、偃師、鞏、緜氏，是其分也。昔周公營

雒邑以為在于土中，諸侯蕃屏四方，故立京師。至平王東居雒邑，其後五伯更帥諸侯以尊王室，故周於三代最為長久，八百餘年。襄王以河內賜晉文公，又為諸侯所侵，故其分墮小。林氏曰：季子觀樂曰：思而不懼，其周之東乎。思者先王之澤也。

不懼者先王之教也。○夾漈鄭氏曰：七月者西周之風，未離者東周之風。

王門卷九 席發元年諸夷賓于王門

Wangmen. Xian.

【統箋】王門當作玉門。昭公八年傳：鄭祁于四墉杜注：墉城也。彌牆謂之墉。釋名曰：墉，容也。所以隱蔽形容也。尚書大傳曰：天子賈庸。鄭康成注：貢大也。言大牆正直也。家語曰：孔子觀四門之墉。是有一門即有一門之墉也。史記頃頃紀：成皋北門。徐廣曰：成皋北門曰玉門。後漢東皮傳：夏后太康失德，庶人始畔，自少康已後，世服王化，遂賓于玉門，獻其樂舞。今按此情：帝發崩，桀即位，居斟鄩，則斟鄩在河南。時席發必先居河南之地，桀因居之，去成皋不遠，是諸侯賓于玉門，當即此也。明陰陽都邑之城曰保。

義證：明堂位曰：九夷之國，東門之外而西北上。晉語云：唯戎

翟則有體薦坐諸門外，而使古人體委與之，此即賓于王門之義也。再保墉會于上池，未詳。彌雅云：牆謂之墉，其即四罿之隸，各服其邦之服，執其邦之兵，守王宮與野舍之謂歟。後漢書陳寔碑曰：太康失德，庶人始畔。自少康以後，世服王化，遂賓于王門，獻其樂舞。